長久保赤水資料693点 国の重要文化財に指定決定!!

（3月19日に国の文化財保護審議会が答申）

文化庁主催の特集「令和２年新指定国宝・国の重要文化財」展

長久保赤水資料公開 4/21（火）～5/10（日） 東京国立博物館（上野）

国の重要文化財指定記念誌 絵本「りゅうのひかり」発行

定価1,000円＋税 好評販売中

Ａ4版変形、80ページ、4,000部印刷 【磯田道史（いそだ・みちふみ）先生も推薦 絵本「りゅうのひかり」】 『赤水図』の四倉沖に書かれている「閼伽井嶽（あかいだけ）の龍燈（りゅうとう）」の謎に迫る

長久保赤水顕彰会では、長久保赤水資料の国の重要文化財指定記念誌として、絵本「りゅうのひかり」【絵・時崎清（ときさき・きよし）氏、文・夏井芳徳（なつい・よしのり）氏】を発行しました。

江戸時代に活躍した学者、長久保赤水（1717～1801）は、『赤水図』と呼ばれる『改正日本輿地路程全図』（第2版）の中に、福島県いわき市の閼伽井嶽の龍燈について記述を残しています。

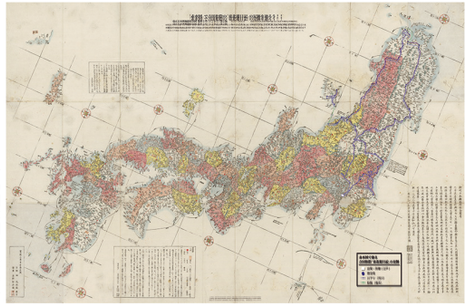
また、『東北南部から近畿図』の地図や紀行文の『東奥紀行』、さらには、『赤水文章』の中にも、その記述を残しています。これらをもとに、長久保赤水顕彰会会員の時崎清氏に「りゅうのひかり」の絵を描いていただきました。

また、医療創生大学客員教授の夏井芳徳氏に「長久保赤水と閼伽井嶽の龍燈」の原稿を、さらに、国際日本文化センター准教授の磯田道史氏にも帯原稿とご挨拶文を書いていただきました。

長久保赤水は、なぜ、『改正日本輿地路程全図』などに閼伽井嶽の龍燈についての記述を残したのでしょうか。その謎に迫ります。

発行年月日／令和2年3月31日
制作発行者／長久保赤水顕彰会

国の重要文化財指定記念 原寸大『赤水図』レプリカ（再版・両面刷り）発行



※右の図は制作見本です

定価1,000円＋税

長久保赤水顕彰会では、国の重要文化財指定記念として原寸大『赤水図』のレプリカ（再版・両面刷り）を令和2年11月6日（赤水先生の誕生日）に発行する予定です。

表面には、【赤水図で吉田松陰の「東北遊日記」の足跡を辿ろう!!】裏面には、【赤水図の変遷】の比較検討が出来るようにＡ3版の大きさで、原図、初版、第2版、第3版、第4版、第5版を掲載します。

顕彰会への寄付金募る

「長久保赤水顕彰会」では、国の重要文化財指定記念の各種事業展開を行うため、その資金集めを、３月２９日からクラウドファンディング「CAMPFIRE（キャンプファイヤー）」において募る予定です。以下URLから「長久保赤水」で検索、または、右のQRコードをスマホで読み取りアクセスいただけます。ぜひご支援をよろしくお願い致します。
https://camp-fire.jp/projects/view/246485

3月22日現在、赤水会会員は、全国で517名ですが、国の重要文化財指定記念を機に、会員1,000名を目指しています。このため、現在、赤水会の会員募集と寄付金募集を行っています。ぜひ、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

問合せ **長久保赤水顕彰会事務局** 〒318-0103 高萩市大能341 佐川 春久 携帯：090-1846-6849
Ｅメール：haruhisasagawa@yahoo.co.jp http://nagakubosekisui.org/

「ひよっこ」の次は大河ドラマ「長久保赤水伝」を実現しよう!! | 学ぼう赤水を 教科書に載せて 広げよう世界へ!! | 長久保赤水記念館（赤水旧宅・前新屋）の開館を目指そう!!